

バンクーバー便り7

バンクーバー時間：2023年6月9日(金)午前11時30分
日本時間：2023年6月10日(土)午前3時30分

今回はカナダ・バンクーバーの日系カナダ人についてお話します。

カナダは多言語・多文化主義を前提に国づくりをしていますので、2021年頃ではカナダ総人口約4000万人中23%の830万人が移民(ヴィジブル・マイノリティと呼ばれる永住権取得者の数)で、その62%が中東を含むアジア出身者(このうちインド人が18.6%で第1位、日本人は0.36%129,000人)です。バンクーバーでは白人49%、アジア系43%とされています。

バンクーバー在留邦人数は3万1千人(男女比1:2)で、永住者は2万人、3ヵ月以上の長期滞在者は1万1千人強です。日本人で初めて日系カナダ人になった永野萬蔵さんは1877年にバンクーバー市の東側に隣接するバーナビー市のニューウェストミンスターにやってきたとのこと。その後、多くの日本人が来加し、リッチモンド市にあるスティーヴストンやダウントウンのパウエルストリートに日本人街ができたとのこと。こうしてバンクーバーには戦前、日系カナダ人が多数生活をして魚業などに携わってきました。この頃の日系移民者たちの暮らしぶりは、『バンクーバーの朝日』という映画(石井裕也監督、フジテレビジョン開局55年記念作品、2014年制作)で知ることができます。バンクーバー朝日は戦前(1914~1941年)のバンクーバーにあった日系人の野球チーム名です。この当時の日本人と白人では体格が大人と子供のように違い、ピッチングでもバッティングでもパワーに格段の差がありました。一度マイナーリーグで優勝したことがありますが、バンクーバー朝日は地域のリーグ戦で最下位の指定席を守っていました。日本遠征から帰国後、再編成された朝日は、真っ向から向き合っても勝ち目はないので、ここは頭を使った野球Brain Ballを始めたのです。つまりバントで出塁し、俊足を生かして盗塁で得点を稼ぐという野球です。この戦法でリーグ優勝にまで上り詰め、米国や日本からのチームと対戦をしたとのこと。映画では戦前のバンクーバーにおける日系カナダ人の活動ぶりが生き生きと描かれています。ところが日米間で太平洋戦争がはじまり、カナダも連合軍として参戦していましたので、日系カナダ人は敵性国民とされ、非人道的な処遇が行われました。米国でも同様に日系人は隔離施設に集められています。カナダではバンクーバーに住む日系カナダ人は一人カバン1個程度の荷物で、バンクーバーからカナダ内地に移住させられ、家屋などの資産は没収されました。この悲惨な追放はJoy Kogawa(1935年バンクーバー生まれの詩人・小説家)著の“OBASAN”(Anchor Books in New York 1981、邦題『失われた祖国』長岡沙里訳、中央文庫、1998年)に詳しく述べられています。OBASANは著者の自伝的小説で、1982年にカナダ文学賞、1983年に米国図書賞など、数々の賞を受けています。Kogawaさんの生家はバンクーバー市内のマーポールMarpoleにあり、保存活動が進められているとのこと。

バンクーバーの日系カナダ人はバンクーバー北部のスローカンSlocanなどに分散収容させられ、Kogawaさん家族もそこに追放されました。1945年には兄と叔父夫婦でカナダ中央部のアルバータ州で暮らすことになりました。そのためかバンクーバーの日系カナダ人はまとまって居住する日本人街のような地域はなくなっています。先にご紹介したように、バンクーバー南部のリッチモンド市には中国系のカナダ人、私たちの住むメイン・ストリート沿いにはインド系カナダ人が多く住んでおり、ストリート沿いには黄金色に彩られた美しいインド女性の衣装店や宝石店、PunjabiやPersianのマーケットなど並んでいます。日系人のセンターは、バンクーバー市の東側に隣接するバーナビー市に、Nikkei National Museum & Cultural Centreがあります。ここは2000年9月に開設され、日系カナダ人の歴史に関する膨大な資料を保管しているそうです。今年3月にセンターで桜祭りがありました。これほど多くの日系人や日本人と一挙に出会う機会はありませんので、まるで日本にいるような錯覚を覚えました。この日、日系5世か6世(?)の子供たちが連太鼓を披露してくれました。Japadogという日本風にアレンジしたhotdogの出店もあり、随分と賑やかな催しでした。

日系カナダ人は太平洋戦争でカナダ国内に分散させられたためもあるのか、日系カナダ人同士の結婚は3割程度で、大部分の人が他民族と結婚しているといわれ、このことが日系人の居住集中地域のできにくいもう1つの理由かもしれません。一方、1967年以降に移住した日本人を新移住者と呼び、トロントで開設されたJICAカナダ事務所に200家族ほどが集まり、「新移住者連絡協議会」を結成したとのこと。それ以前に移住した日系人とは時に不協和音も起こったとのことですが、少数派の日系カナダ人や在留邦人が共に、カナダでの偏見差別のないピースpiece & peaceとして発展することを願っています。

Nikkei
National
Museum
&
Cultural
Centre

